

第2回滑り軸受－巻きブッシュ JIS 原案作成分科会議事録

(日本機械学会：滑り軸受－巻きブッシュ JIS 策定分科会)

年月日 : 2008 年 2 月 19 (火)
時間 : 14 : 00～17:00
場所 : 日本機械学会 第三,四会議室
出席者 : JIS 原案作成分科会 委員 (兼 作成委員会委員)
染谷委員長、三原 (武蔵工業大学)、花房 (三矢精工)、桜井 (三協オイルレス工業)、田中 (折橋製作所)、田所 (千住金属)、山田 (大豊工業)、花橋 (大同メタル工業)、林、三和 (オイルレス工業)
記録 : 三和

<配布資料>

- ①第2回 滑り軸受－巻きブッシュ JIS 原案作成分科会 議案
- ②第1回 滑り軸受－巻きブッシュ JIS 原案作成分科会議事録
- ③JIS2005 テンプレートマニュアル (基本編、応用編)
- ④ISO 3547-2,3,4 の和訳

<回覧資料>

- ①自動車技術会 JASO 規格 自動車部品・樹脂製巻きブッシュ
- ②自動車技術会 JASO 規格 自動車用巻きブッシュ
- ③JIS B 0163-1 滑り軸受－記号－第1部：基本記号
- ④JIS B 0163-2 滑り軸受－記号－第2部：応用記号

<議事>

1. 前回議事録の確認

内容を確認し、委員会で承認された。

2. JIS 原案作成について

JIS 原案作成は、JIS 原案作成マニュアルに沿って、日本規格協会 山田様 (TC123 国内委員会担当) のご助言を頂きながら進める。

・テンプレートについて

テンプレート(JDT2005)マニュアルには、JIS 化作業の基本が明記されているので、分科会委員全員が下記アドレスよりダウンロードし内容確認を行なう。

JISC ホームページ-JDT 2005 のダウンロード

<http://www.jisc.go.jp/jis-act/proposal-tmp2005.html#internet>

3. グループ分け

議案のとおりグループ分けを行なうことに決定。役割は以下の通り。

リーダー：JIS 化主担当、各メンバー：補佐

今後、分科会開催時には、リーダーかメンバーのどちらかが参加しグループ内の進捗報告を行なう。また、リーダーとメンバーのどちらも参加できない場合は、幹事に進捗内容を報告する。

4. JIS 化の内容

・JIS 化作業の確認すべき項目

①JIS 作成時の図について

各自、図はもととなる ISO 規格の図をワードに貼り付けている。寸法表記は ISO のものと

なるが、ISO 原文の図（寸法含む）を JIS の方へ引用しても問題ないか。

②表について

JDT2005 マニュアルをみると、表の挿入の仕方が記載されており、注釈としてエクセル表の貼り付けも可能と明記されているが、表の書式は特に問わないのか。

例；罫線の太さ、行間、列幅、枠線有無（JIS B 0163 の表には両サイドの外枠が明記されていないなど）

③文字のフォント

日本語、記号、英数字のフォント、文字の大きさ、行間などの制限について確認。

④対比表について

通常、JIS には「JIS と対応する国際規格との対比表」が巻末に記載されているが、この対比表のフォーマット有無について確認。 通常の表と同じ様に各グループが作成するのかどうか。

⑤材料の表記法について

ISO3547 の材料表記が日本で使用されている表記と異なる。 材料の基本記号など標記方法が記載されている JIS 規格を紹介頂く。

※①～⑤に関しては、日本規格協会 山田様に連絡して確認する。

今後、4 月末を目処に、各グループ協力のもとテンプレートを使用した形で JIS 原案を作成する。

その後、6 月初旬までに、各グループ協力して体裁を整え、以後、修正を繰り返していく。

5. METI 宿題

・ JASO 規格、その他の関連規格について

JASO 規格、滑り軸受関連のその他の規格と ISO 規格について、各グループは内容の確認を行なう。 以下に今後参考すべき規格を記す。

参考：JIS 規格

- ①JIS B 1582 滑り軸受用ブッシュー1996 初版（2001 改訂）
- ②JIS D 3102 自動車機関用半割滑り軸受ー1987 初版（2000 改訂）
- ③JIS D 3106 自動車機関用半割りつば付き滑り軸受ー1988 初版（1994,2002 改訂）

：ISO 規格

- ④ISO 12301 : Plain bearings -- Quality control techniques and inspection of geometrical and material quality characteristics

上記規格は、分科会メンバーに回付する。

6. その他

- ・ JIS 原案委員会 本委員である日本規格協会 山田様に分科会に都合のつく限り参加して頂く。進捗を確認して頂くとともに、不明点を委員会開催時に明確にして作業の迅速化を計るため。

7. 次回開催日

- ・ 分科会（作業委員会）：3 月 18 日（火）（機械振興会館 6 階-69、13:00～17:00）
- ・ 本委員会 ：2008 年 3 月 6 日（木）（日本機械学会 会議室 17:00～17:30）